

娘夫婦の住む2階。天井にスチールの梁を設けることで、モダンな雰囲気を出している

04 宝建設



お互いの好みを美しく調和させた バランスのいい2世帯住宅のカタチ

玄関と階段まわりを共有にし、お互いの気配が感じられるゆるやかさをもたらした2世帯住宅。
自然のマテリアルが活かされた空間からは、
モダンスタイルを好む両親と娘夫妻のこだわりが見て取れる。
四季折々のグリーンが楽しめるデッキも、ここのご自慢だ。

デザインの力と設計力で 空間に統一感を与えた 新感覚の一世帯住宅

1階(下)両親、そして2階に娘
家族が住む2世帯住宅。それぞれ
の好みを反映し、1階はシナや米
マツといった濃いめの木材を用
い、2階は木材を白く塗つてより
モダンな雰囲気に仕上げている。
しかし全体の調和がとれているの
は、デザインが統一されているこ
とに加え、「娘と私の好みが似て
いるからかしら」と奥さんは笑う。

娘さんによれば、家づくりを考
え始めた当初、ご両親と姉家族・
妹家族の3世帯で住むことを考え
ていたという。しかしそのように
条件はハウスメーカーにないと考

二家族それぞれの個性ある 空間を表現しながら、空間 と家族をつなぐ知恵

1階は、木の感じを活かしたつ
くりにしたいと考えていた奥さ
ん。かといって木の重厚感は好み
ではなく、すつきり軽やかな見た

え、建築家をあたってみることに。
しかし土地の条件から3世帯は難
しいとわかり、姉家族が同居を断
念。2世帯住宅として新たなカタ
チを探っていたところ、インターネット
で宝建設を見つけたとい
う。「地元の工務店が一番安心だ
と思つたし、何より施工例を見た
とき、求めていたものに近いと感
じました」と奥さん。



A. 1階のリビングダイニング。将来を見据え、奥さんはバリアフリーであることもリクエスト
B. 2階キッチンは娘さんの身長に合わせ、カウンターに座る人と目が合うよう床が下げられている



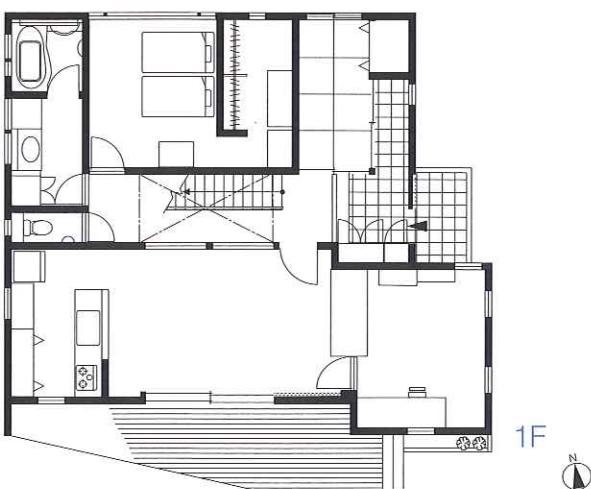
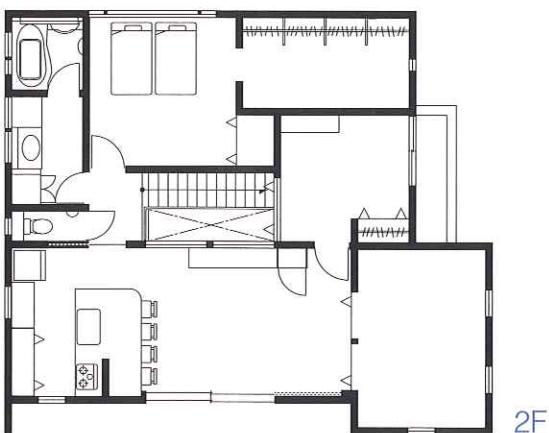
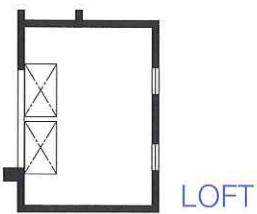


A. 玄関と土間続きになった和室。客人が宿泊できるようにと用意された空間でもある
B. 「なるべく家具を目立たせたくない」という希望から、造作家具にして空間に調和させた
C. ガーデニング好きな奥さんの作品が置かれたデッキ。パーテーションから漏れる光がやわらかい

目を希望した。そこで玉建設の佐藤治正さんは、梁を外側から見えるようにしつつ、線をすつきりさせ、色を控えめにしてすつきりしたディテールに。加えて、リビングダイニングと階段室とを分ける壁にトップライトを設け、天井に軽さを与えるユニークな解決方法をとった。

対する2階は若い娘夫婦の好みから、白を基調としたモダンなつくり。とはいえ冷たい印象にならないようなど、木を塗装して用い、子供室にあたる部分は木そのものの色合いを活かして調和をとるなどの工夫がされている。また、この空間は天井の高さも特徴的で、トップライトが設けられているために、夕方近くまで照明を灯す必要がないと娘さんは話す。「ここでリクエストを出したのは、主にキッチンのつくり。子供が小さくて目が離せないこともあり、オーブンにしたかった。そしてつくっている最中も、食べている人と同じ目線の高さにしたかった」。そこで広めのカウンターをダイニングテーブル代わりにし、キッチン部分の床レベルを1段下げ、キッチンに立っていてもカウンターに座る人と目線が合うような設計に仕上げられた。

1階と2階で統一感を出しつつ、それぞれが満足できるデザインに仕上がった新感覚の2世帯住宅。そこに住む家族の、気持ちの通い合いがカタチになつたようだ。



D A T A

◎敷地面積 / 174.14m² (52.77坪)
 床面積 / 192.14m² (58.22坪)
 1階 / 95.65m² (28.98坪)
 2階 / 96.49m² (29.24坪)
 用途地域 / 第1種低層住居専用地域
 建ぺい率 / 60%
 容積率 / 160%
 構造 / 木造軸組工法
 ◎設計・施工 / (有)宝建設
 〒216-0033
 神奈川県川崎市宮前区宮崎150番地
 ☎044-877-3861
 ◎本体工事費 3600万円

撮影 / 村角創一
 取材・文 / 大輪俊江